



町づくりは人づくりから……人づくりは正しい話しあいから



おぢいさん おばあさん どうぞお元気で

大木戸で敬老会

大木戸婦人会(会長八島アキ子)では、去る十月二十八日(日)小学校講堂で敬老会を開いた。午前十時から町長、議長、教育長などの祝辞につき、記念品を贈り、会員のまじりつめた赤飯の昼食と各部落自らの舞踊で老人をなぐさめ、午後一時からは五月劇の演劇で秋の一日を楽しました。七十以上の老人百二十人に茶点を出したが出席者は八十人に達する盛会であった。会員も五十余

20アール(2反)以上に区画整理を

南方村の土地改良を視る

わが国見町の土地改良は、北部に位置し、迫川の流域に広がる東西一〇キロ、南北四キロ、耕地面積二、九二八ヘクタール(町歩)という長土木主任の指導によるもので、去る九月二十九日、土地改良先導地である宮城県登米郡南方村の土地改良事業の状況を視察した。以下その概要である。南方村は、川および迫川の氾濫による常習水害地である。しかも

ママさんありがとう 国見町優良児表彰

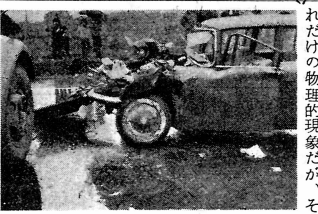


国見町では、本月二日前から夜間会議室で優良児の表彰をとり、今回の表彰者は次のとおりである。◎は保護者表彰 ◎は児童表彰 ◎は保健所表彰 昭和三十五年度後半期

- 氏名 保護者 住所
渡藤 俊彦 新吉 光明寺
高橋 真二 和野 山崎
平野 光子 光野 山崎
吉田 絹子 昭一 森山
赤坂 裕子 豊治 内谷
羽辺美穂子 龜彦 宮町
羽根善弘 善二郎 錦町
○板橋由美子 二男 錦町
○野野 孝子 義夫 内谷
○斎藤 淳 茂良 徳江
○佐藤 浩信 茂良 徳江
昭和三十六年度後半期
○渋谷 正志 行夫 光明寺
○佐藤 博之 博夫 小坂
○岩城 文子 達男 川内
○佐藤 弘道 光雄 貝田
○佐藤 善夫 芳彦 宮町
○佐藤 義和 善彦 森山
○寺島 友子 新進 森山
○佐藤 利文 利七 石母田
○菊地 正紀 昭平 石母田
○氏家美佐子 昭一 小坂
○八巻 正幸 俊夫 徳江
○神成 仁志 永夫 泉田
○吉田 三六 進 山崎
昭和三十六年度後半期
○鈴木和夫 周三郎 川内
○高野 健一 喜平 鳥取
○佐藤 正一 志朗 大町
○佐久間 隆弘 次田 板橋
○岡田 明美 一雄 貝田
○吉田 栄夫 新三郎 板橋

おそろしい交通事故

十月二十八日午後二時、上野原の国道で起った交通事故の現場写真である。型トラック(福島の浦津運輸)は左側に停車し、小型トラック(特に名を就す)は避けて右側に出たところ、前方に自動車(右側)を藤田方面に向って進行中で、道路を折返して、折返り途中、トラックはスリップして横方向になり、右側いすい立ちぶさがつた。藤田方面から疾走してきたハイヤーは遠慮会釈なくトラックのヘッドにも乗りこんだ。たまたそれだけの物理的現象だが、それ以上のように当町とは比較にならないような大規模である。しかし、このようにして、今後の近代化農業構造改善の国家要請にも、生産性の向上と農業経営の安定を図る上にも、構造改善の基盤である耕地の整備が要求され、その技術の導入、経営改善と大きく関わらなければならない時期が来るものと考えられるので、その時こそ、今度の研修視察の意義を生かし、農家各位の要望にこたえる覚悟である。



これに付随する生理学的現象が大きかったのである。写真のように目のまぶたに打ち込まれたハイヤーには、昭和十五年生れの運ちゃん他に

栗の特産地視察記

伊達郡内に「栗」の特産地を一つ見つけた。栗は果樹ではなく林木である。栗は栗の木が倒れたときに発生し、ネドトドタダに発生し、ネドトドタダは四年目頃から発生するので、予防には充分気をつける必要がある。消毒は、芽の出る前と八月にそれだけ一回づつ行なえばよい。実は落ちた栗を拾って、原則として、無理にたいて、葉を落さぬことが大切だ。二間四方に一本の樹で、十年後に半数を開伐して、あらかじめそれを予定しておくこと。植付けには良品を選ばせ、長、苗木を植

おじさん

国見町役場の用務員佐藤清吉さんは国見町交通安全会の役員として、交通事故の防止に努め、特に朝夕の登下校時、役場の十字路に立つて子どもたちにももちろん、一般者の交通指導に当たっている。これまでもたびたび新聞等で紹介され、表彰も受けている。文化の日、前日町町子供会の子供たちの、こすかいを出し合つて買求めた美しい花束に贈つたような感謝の手紙を添えて来た。

乾田直播で十俵収穫

森江野農協では省力・機械化の研究のため、農業改良普及所、町役場の協力を受けて、水田の直播栽培を実施し、その結果がこのほど判明した。詳しい播種概要及び成績は次号でお知らせするが、最も注目される収量の点を見ると、乾田直播の場合一反三九七五(約十俵) 汎水直播では三七四五四(約八俵半)という好成绩であった。尚所要労働は反当たり八時間、八時間労働で十俵半、いうことになる。

編集後記

出稼ぎの節になりました。内地留学の気持ちでやればお金以外にもたくさん収穫があるはず、お体に気をつけてお働き下さい。手にかけても十俵、手をはぶいても十俵、技術の面にこそ経営の余地にもまだ研究の余地がある。米もとれたし、水道も引いた。ミシン、電気洗濯機も買ったし、台所改善もやつたし、今はやりの経営の改善もそれだから、始のあたりの改善も、もう大丈夫です。嫁はすこすこまでです。◎「新正月一本化」それは昔のものがたり、今は農家の週休制、ほんに夢のような話。バスはもう動き出しています。お乗りおくれのないように。◎〇〇円金で飲み放たの忘年会、三〇〇円金で豪華なバス旅行などおとせばなしの国のことと思つたら、日本にも流感のように時々はやってくる。◎連青団発表会と十二月二日午時

- ◎連青団発表会 十二月二日午時
◎連青団発表会
◎そのうそほん」と
◎公開録音
◎歌謡大会